

日本連盟資料 1-1

日本連盟評議委員会資料抜粋

1. 国民スポーツ大会における監督の保有審判員資格について<連絡>

現在の国民スポーツ大会実施要項に規定されている監督の参加資格に「1級審判員の資格を有していること」を追加する方向・時期も含めて検討中。

2. ソフトテニスラケットにおける公認マーク貼付の廃止に伴う対処について

ソフトテニスラケットにおける公認マーク貼付の廃止に伴う対処について2026年4月から販売されるラケットには、日本ソフトテニス連盟の公認マークが貼付されなくなるため、トスを行う際に「ソフトテニスルールブック 審判規則 第23条(5)(国内大会)」に記述されている内容では補えないことから、現行のルールに下記を追加して対処することとする。

◇ラケットのグリップエンドにあるメーカーマークの上を表とする

◇コイントス

コイントスを行う場合は「ソフトテニスルールブック 審判規則 第23条(5)」に記載されている(国際大会)に準じて行う。公認マークの有無ラケットが暫くは混在することが考えられるため、上記の3種類のトスで対処することとします。各大会においては、トスを行う方法を競技上の注意に記述するか開会式で必ず伝達するようお願いします。

(コイントスを採用する場合は、全対戦統一してコイントスとしてください)

★2026年度の(公財)日本ソフトテニス連盟主催大会全てにおいて、ローカルルールとしてコイントスを採用することとする。

3. ジュニア審判マニュアルについて

1部500円として販売。販売時期は予算の都合上4月以降になる。

3月に注文数を把握したい。注文票を送信するので必要数を報告願います。

4. 公認審判員認定料及び更新料の改訂について<連絡>

※金額の改訂は2027年度を予定

5. ルール改訂に伴う規程等の一部改正について<連絡>日本連盟HPで周知予定。

次にあげる規程等がルールの改訂により一部改正となったことをお知らせする。

公認審判員規程 ・ 審判委員選考規程 ・ 公認審判員規程施行細則 ・ 専門委員会の職務

6. 2026年度全日本選手権大会における派遣審判員の協力依頼について<連絡>

昨年度と同様に全てのマッチを本部審判で実施したいことから、金曜日・土曜日に其々100名、日曜日は40名の審判委員が必要になるので、各支部から協力を仰ぎたい

7. 技術等級認定料の改定は2026年4月から(日本連盟HPに掲載予定)

日本連盟資料 1-2

8. アジア競技大会に関する連絡事項<連絡>

1. 競技日程について

- ・9月18日（金）：国別対抗予選
- ・9月19日（土）：総合開会式
- ・9月20日（日）：国別対抗準決勝及び決勝
- ・9月21日（月祝）：ミックスダブルス
- ・9月22日（火祝）：シングルス予選
- ・9月23日（水祝）：シングルス準決勝及び決勝

2. 観戦チケットの販売開始時期

- ・詳細は下記ホームページにてご確認をお願いいたします。

<https://www.aichi-nagoya2026.org/news/detail/1120>

9. 公認スポーツ指導者資格(ソフトテニス)の再登録又は復活登録について

有効期限から6か月以内の場合は、「更新研修」を修了すれば、「再登録」できます。
詳細は県連HPにUPします。資料 1-1、1-2

10. 令和8年度天皇賜杯・皇后賜杯全日本ソフトテニス選手権大会参加数について

詳細は県連HPにUPします。資料 2

11. 1級審判員更新研修会。検定会における実技免除の概要、及び2級審判員更新研修会の受講免除の概要

詳細は県連HPにUPします。資料 3

西日本連盟代議員会資料抜粋

1. 西日本連盟主催大会においてもコイントスとする。西日本小学生大会も同様とする。
2. 審判にあたる際、正審は日傘（シルバー等光を反射しない物）の使用を許可する。審判はファン付きベスト及びクールポンチョの着用を認める。また、フェースマスクの使用も認めるが、コールが聞こえ辛い場合は外してください。
3. 西日本シニア選手権大会及び西日本選手権大会、西日本選手権小学生選手権大会
詳細は県連HPにUPします。資料 4

四国連盟より

1. 四国選手権大会 日時令和8年5月10日（日）会場 香川県総合運動公園県営テニス場
ルール：コイントスとする。マッチ開始前の挨拶が終わった後のサービス、レシーブ又はサイドの選択は、副審がコインのA面とB面を方のプレーヤーにそれぞれ示し、コインを投げる。A面が上になった場合は正審の右側が、B面が上になった場合は正審の左側がそれぞれ先取権を得る。

愛媛県審判委員会より

50歳以上の方はマスターレフェリー、マスターアンパイアの資格があります。

日本連盟資料 1-3

ソフトテニスハンドブックの改訂についての要点（日本連盟審判委員会）

- (1) 名称を「ソフトテニスルールブック」とする。
- (2) 「アンパイヤー」の表記を「アンパイア」とする。
- (3) 「レフェリー長」を「チーフレフェリー」とする。
- (4) 「採点票」を「スコアシート」と名称変更する。
- (5) 競技規則

① P29 第 3 2 条 (3)

(3) 有効にサービスされたボールが、ワンバウンド後ツーバウンドする前に、レシーブするプレーヤーのパートナーのラケット、身体又は着衣に触れた場合(インターフェア)。

サービスボールが直接レシーブするパートナーのラケット、身体又は着衣に触れた場合、「ダイレクト」となる。正しくサービスコートにバウンドした後に触れた場合と明確に分けるために「ワンバウンド後」を入れた。もちろん正しいサービスコートに入らなかった場合はその時点で「フォールト」になる。

⑤ P35 (タイム) 第 3 9 条

(1) …プレーの継続ができなくなり (マッチ開始前の練習中を含む)、…。

マッチ開始前の練習中における身体上の故障について「タイム」が取れるようにし

⑩ P40 (ヒートルール) 第 4 6 条

会場での暑さ指数 (WBGT) が原則 31 以上となり、ファイナルゲームとなった場合、ファイナルゲームに入る前に 3 分間のテニスコート内 (アンパイアの目の届く範囲) での休憩を許可する。

WBGT 計の普及に伴い、環境省の「熱中症予防サイト」の基準に合わせた。

② P54 (サイン) 第 1 1 条

ウ その他の判定区分 (レット、ノーカウントを除く) は、付図 (オ) のとおり、片手で該当することを行ったプレーヤーを示して、該当するコールをする。

人を指さすのはいかがなものかという意見を検討し、従来、プレーヤーを「指して」とあったものを「示して」とし、併せて付図オも修正する。

③ P55 (再判定) 第 1 4 条

1. アンパイアはマッチ中に判定等に・・・、内容を確認の上、両者を審判台のところに呼び、再度判定の結果を正審から通告する。

質問に対し、アンパイアがうなづく程度は再判定とはみなさず、「両者」を「審判台」のところに呼んで通告することとした。